



日本の自動車120年と 刈谷から歩んだ豊田喜一郎のクルマづくり

2019年2月23日(土) 午後1時～午後4時50分

特別開催 自動車館特別ガイドツアー 10:30～11:30

主催：中部産業遺産研究会 共催：トヨタ産業技術記念館



会場 トヨタ産業技術記念館 ホールA

〒451-0051 名古屋市西区則武新町4丁目1番35号

公共交通機関をご利用の場合

- ・名鉄：名古屋本線「栄生駅」下車、徒歩3分
- ・なごや観光ルートバス「メーグル」：名古屋駅バスターミナル11番のりば「なごや観光ルートバス「メーグル」」乗車「トヨタ産業技術記念館」(敷地内)下車すぐ
- ・タクシー：「名古屋駅」から5分

お車をご利用の場合

- ・名古屋高速6号清須線「明道町出口」から5分程度。
 - ・名古屋高速都心環状線「丸の内出口」から10分程度。
- 無料駐車場(乗用車220台、バス10台)

後援：愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・産業考古学会・日本産業技術史学会・一般社団法人 日本機械学会・一般社団法人 中部産業連盟
公益財団法人 中部圏社会経済研究所・一般社団法人 中部経済連合会・公益社団法人 日本技術士会中部本部・名古屋工業大学ごきそ技術士会

写真：(中央) 現存する試作工場(1934年竣工・愛知製鋼株式会社刈谷工場内・国登録有形文化財)

(右上) 試作工場での「トヨタA1型試作乗用車」完成式(1935年) ともにトヨタ産業技術記念館提供

日本の道を自動車が初めて走ったのは、世界的にもまだ珍しかった19世紀末です。それから約120年です。そして、1908年に大量生産されたT型フォードが登場し、米国では大衆化が進みました。1923年の関東大震災では復興に自動車が活躍し、米国車の利用が拡大しました。一方、欧米に劣らない織機開発で実績を上げた父佐吉の想いを受け、自分たちの手で自動車事業を起こそうと豊田喜一郎は志しました。1935年5月当時豊田自動織機製作所（現豊田自動織機）自動車部にて米国大衆乗用車を参考に、自力で試作1号車（A1型）を完成させました。その試作工場（現愛知製鋼株式会社刈谷工場内）が、2018年3月に国の登録有形文化財になりました。また2018年7月には、豊田喜一郎の米国自動車殿堂入りが発表されました。彼は、日本の多くの人に乗用車を提供し暮らしを豊かにしたいと考えました。しかし、歴史の流れに翻弄され本格的な大衆乗用車量産はフォードに遅れること約50年の戦後です。これらの記念すべき時機をとらえ、自動車と豊田喜一郎のクルマづくりにつながる歴史をひもとき、再発見や気づきを得たいと思います。

プログラム 10:30～11:30 自動車館特別ガイドツアー（事前申込者のみ）

12:00 シンポジウム 受付開始

13:00 開 会

13:10～ **基調講演「日本の自動車120年～その歩みと豊田喜一郎」**

講師 鈴木 一義

（国立科学博物館 産業技術史資料情報センター センター長）

講 演「自動車事業へのチャレンジ ～栄生から刈谷、そして拳母へ～」

講師 飯島 修（トヨタ産業技術記念館 館長）

15:50～ **質疑応答・パネル討議 会場からの意見交換** 「試作工場の活用」など

コーディネーター 八田 健一郎（会員）

16:50 閉 会

17:15～19:00 懇親会（事前申込者のみ） 会場：ブリックエイジ（館内）

参加費（講演報告資料集の代金を含む）

シンポジウム 一般 1,500 円

- ・中部産業遺産研究会会員・後援団体関係者 1,000 円
- ・学生で資料を必要としない場合 無料

懇親会 5,000 円

*自動車館ガイドツアー参加の場合、別途団体入場料（400 円）が必要です。シンポジウム実行委員がご案内しますので、参加者は現金をご用意の上、「環状織機前」に集合ください。

*シンポジウムの参加費および懇親会費は、お申し込み後、お振り込みをお願いします。（当日受付でも支払い可能）

振込先 【郵便振替】口座番号：00880-2-83831

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」

*個人での振込は申込者の名前をお願いします。

お申し込み

下記の内容を記載し、Eメールまたは郵送でお申し込みください。

- ①氏名・フリガナ
- ②区分 一般・中部産業遺産研究会会員・学生
- ③電話番号
- ④メールアドレス
- ⑤所属（学生の場合は学校名）
- ⑥「自動車館ガイドツアー」への参加・不参加
- ⑦「懇親会」への参加・不参加

・なお「CPD 行事参加票」の必要な方はその旨をご記載ください。

Eメール

nakawarido@yahoo.co.jp

郵 送

〒470-0213 愛知県みよし市打越町九蔵釜 93

加藤 真司 宛

*参加券は発行しません。定員超過などによるお断りがなければ、当日受付までお越しください。

*申込書に記載の個人情報は、当シンポジウムの運営及び緊急の連絡のみに使用します。

*勤務先等で複数お申し込みの場合は、全員の参加者名をご記入ください。

*「CPD 行事参加票」はCPD制度を実施している学協会に所属の方で、必要とされる方に配布するものです。

定 員

自動車館特別ガイドツアー：40 名

シンポジウム：100 名

懇 親 会：30 名

*先着順。定員になり次第締め切らせていただきます。

お問い合わせ

- ・中部産業遺産研究会 WEB サイト

<http://csih.sakura.ne.jp/>

- ・「日本の技術史をみる眼」開催案内

<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>

- ・シンポジウム実行委員会事務局（八田 健一郎）

E-mail kenhatta@hm4.aitai.ne.jp